

在宅での取り組み「いつとき在宅」

入院中、患者さんが「家に帰りたい」「自宅で過ごしたい」と希望されても、ご家族は「本当に家で過ごせるのだろうか」「仕事もあり、自宅では難しいのではないか」と悩まれ、施設への退院や他院への転院を選ばれることも少なくありません。

ご家族が「退院しても本当に自宅で過ごせるのだろうか」と不安になられることは、当然のことだと思います。

そのため当院では、必ずしもずっと在宅で頑張らなくても良いように、

「とりあえず在宅」「いつとき在宅」「行けるところまで在宅」

といった柔軟な選択肢をご提案しています。

実際に自宅で生活してみると、「意外とできることが多い」と感じられる場合もあれば、「やはり自宅での生活は難しい」と思われることもあります。その際には、無理に自宅での生活を続ける必要はありません。患者さんやご家族のご希望を伺いながら、次の生活の場を一緒に考え、スムーズに移行できるようお手伝いいたします。

当院をはじめ、訪問看護、ケアマネジャー、薬局など多職種スタッフが、患者さんにご家族を継続的にサポートしてまいります。

「やっぱり自宅で過ごしたい」と思われた際は、まずはご相談だけでも構いません。そのお気持ちを大切に、力になればと思っています。どうぞお気軽にご相談いただければと思います。

